

仏様のおはなし新シリーズ第83集 「無常」

いつもいつも、ホームページにアクセスをいただき、ありがとうございます。お釈迦様のお言葉にこんな言葉があります。無常という言葉です。漢字で書くと常に無いと書きます。

何が無いのかと言うと、私のいのちが常に無い。この世の有り様が常に無いんだよと、おっしゃっておられるのです。

しかし、いのちは今日もある、明日もある、明後日もある、来年も再来年も五年後も十年後も三十年後もあると思っっているのが、日々の有り様ではないでしょうか。

「若きは老いたるを送り、盛んなる者のおとろえを葬うのは、道理なるに似たれども、世は必ずしも然るべきにあらず。」

「無常」つまり、すべてのものは常に移り変わり、いつときとして同じ状態が続いたりはしない。若い方がご年配の、元気な方がおとろえていく方のおとむらいをするのが当然のように思っけていても、それさえも思い通りにはならないものであるということをお教えて下さっているお言葉です。

「諸行無常」。

この人生、いつ、どうなつて何があつてもおかしくないことなのですから、今日のいのちがあつたこと、食事をいただけたこと、かけがえのない一日をいただいたことを改めて考えさせられるお言葉です。

誰に代わつてもらうこともできず、いつ何がこの身におこるかわからない。

誰に代わつてもらうこともできないこの人生を、共に生きて下さる阿弥陀さまがおられます。あなたが忘れていても、私は決して忘れたり、見捨てたりはしないと、誓い、私の上にはたらいっておつてくださる阿弥陀さま。

このいのちのすべてをささえ、どんなことがあつても、決してあなたを見捨てることはない、私にまかせよ、あなたの人生の、つえとも柱ともなろうと常にはたらい下さつているのが阿弥陀さまのお働きであります。

私にまかせよの喚び声を大切に聞かせせていただきますように。

担当は中央区平尾光専寺住職城厚慈でした。

